

公民連携のまちづくり第2回セミナー

**浪江町における地域経営資源を活用した
地域経営主体と多様な共創による持続的な
まちづくりプロジェクトの創出**

2024年11月5日 浪江町

廣 常 啓 一



第1回勉強会の振り返り

**町内外の地域経営資源を活用し、
地域課題解決や地域経営事業創出の主体になろう!!**

第2回勉強会

行政サービスを受けてきたゲストの立場から地域経営のホストに。

町内の主体と町外の多様なセクターや業界、主体との共創

**浪江町と地域が主体となる地域課題解決の技術や事業を産み出す
オープンイノベーション機能とリビングラボ機能の活用**

**共創プロジェクトの課題解決や機能充実のための更なる共創の
組合せ（科学技術やエビデンスに基づくリビングラボ機能形成事例）**

第1回勉強会の振り返り

**町内外の地域経営資源を活用し、
地域課題解決や地域経営事業創出の主体になろう!!**

第2回勉強会

行政サービスを受けてきたゲストの立場から地域経営のホストに。

町内の主体と町外の多様なセクターや業界、主体との共創

浪江町と地域が主体となる地域課題解決の技術や事業を産み出す
オープンイノベーション機能とリビングラボ機能の活用

共創プロジェクトの課題解決や機能充実のための更なる共創の
組合せ（科学技術やエビデンスに基づくリビングラボ機能形成事例）

地域課題を解決する地域経営事業

10

地域の困りごと、地域の課題（≒地域ニーズ）は地域の方が一番、理解しています。

しかし、地域を持続的に経営していくための経営資源（資産）については、地域の方は気付いていないということが多くあります。

公民連携の背景

6

これまでの、地域課題解決や地域のサービスは、行政のサービスであり、地域の住民や事業者は、受益者でした。

行政サービスも無償であってもコストは、町民、県民、国民皆で支払っています。

しかし、少子高齢化などの環境下、富の分配による行政サービスには限界があり、持続的な地域経営やエリアマネジメントには結びつきません。

負の分担時代に
知恵を絞り、社会との関わる主体や仲間を
地域で増やすこと、関わる主体の自立、持続
のためのマネタイズや町外からの様々な人や
技術、資金、人や主体のエネルギーなどの誘致が必要となります。

地域課題 = 地域ニーズ ≒ 市場 = 地域経営ビジネス

44

地域課題解決は、すなわち地域のニーズであり、事業者にとっては市場とも言えます。
解決策が他地域でも活用できれば、更に大きな事業となります。

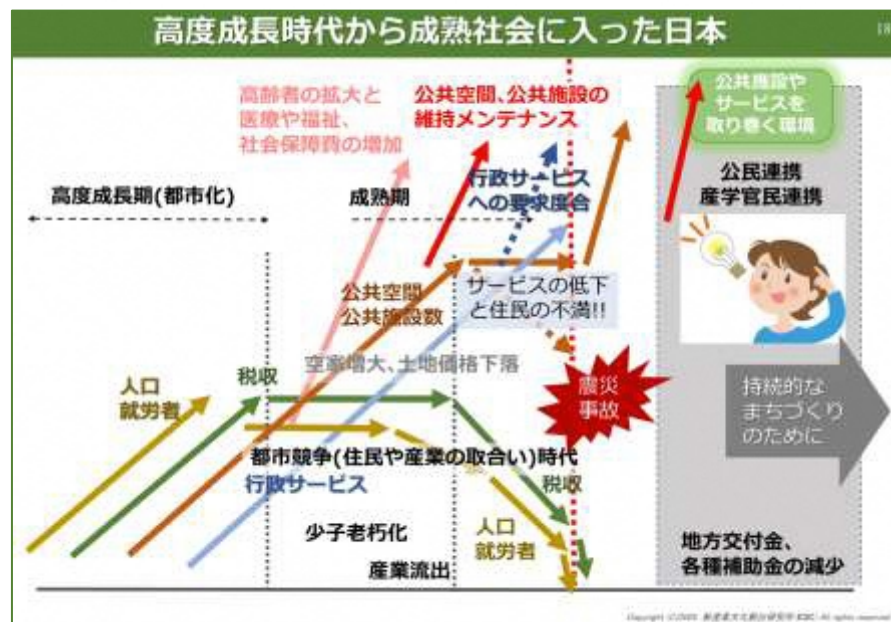
その市場や地域に参入する者が居なければ、それは地域では潜在的な市場、つまり、ブルーオーシャン市場です。

自らも困り、地域の課題である市場ならば、サービスを受けるお客様(ゲスト)から、**地域の事業主体(ホスト)**として事業化し、
地域経営やコミュニティビジネスに参画していくことが望ましいのではないのでしょうか。

高度成長期に公共事業（公共施設や公共サービス）の肥大化へ

14

第1回勉強会の振り返り 地域経営資産の整理と不足リソースとの共創 4



地域資源の整理と活用、不足リソースの発掘・育成・開発・誘致・共創

例えば、地域課題と現状の活動や主体、また、**地域経営資産(資源)**を可視化、再構築します。

地域経営や事業化のためのボトルネック解消に**不足する技術や人(移住者含む)、事業者や資金などのリソース**を、どのように**地域で見つけるか、育てるか、開発するか**。

地域だけで難しければ外から**地域に誘致**するのか、**パートナー**になってもらうのか、**どの様なビジョンを共有し共創**するのかを考えます。

どの様な経営資源をフックにするか

不足する大きなリソースを釣り上げるのか

持続的な地域経営のための産業や文化、ブランドの再構築

地域を持続的に経営するためには、継続的に技術を開発し高め、人材を発掘し育成し、**地域経営やプロジェクトを事業化する資金や用地を確保**して、他地域にも展開できれば理想的です。

これまでに浪江町には、無かった**新たな産業や文化の再構築(Re-エンジニアリング)**、または**地域ブランドの再構築(Re-ブランディング)**と**新たなライフスタイルや文化の創出**になるかもしれません。

そのために地域では、何を行えばよいのでしょうか。何を利活用すればよいのでしょうか。誰と何を共創すればよいのでしょうか。

駅前用地

湘南スタイル

浪江町の経営資産の整理(可視化)、駅周辺開発やF-REIの経営資源化

その不足するリソースを誘致、また育成、開発するためにも、浪江町の**経営資産(資源)**を賢く活用します。

浪江町の経営資産(資源)は、地域産業や伝統文化のほか、温かい人柄や移住者も含む住民や事業者の協力、協働、実証の仕組み、積極的に新しいことに取り組む姿勢、そして**地域の経営主体の有無**かもしれません。

浪江駅西側含む**地域用地(PRE含む)**や計画、また、新たにできる**F-REIの機能や人材**、公的な**補助金や支援体制**、柔軟な**公民連携姿勢**、協力体制かも知れません。

F-REI 福島国際研究教育機構

オープンイノベーション 産学連携、社会実装 地域実証、スタートアップ支援

地域の協力体制 エリアマネジメントやリビングラボ機能

補助金など支援制度

補助金

このように行政サービスの事業創出やコミュニティビジネス創出のための公民連携から、異分野連携、そして

地域に不足する多様なリソースを町外から誘導し連携する

**オープンイノベーションや
地域連携のリビングラボなどの
共創手法を身に着けて、**

地域経営の主体側(主体意識)の
関係者になっていただきたいと思います。

アイデアを出す人、それを形にする人
事業とする人、そのパートナーになる人

共創の課題、技術、事業モデル、実施主体、アイデア
その方向を一体化するテーマ(プロジェクト)を集めます。

『アイデアと地域経営主体の募集』



第1回勉強会の振り返り

町内外の地域経営資源を活用し、
地域課題解決や地域経営事業創出の主体になろう!!

第2回勉強会

行政サービスを受けてきたゲストの立場から地域経営のホストに。

町内の主体と町外の多様なセクターや業界、主体との共創

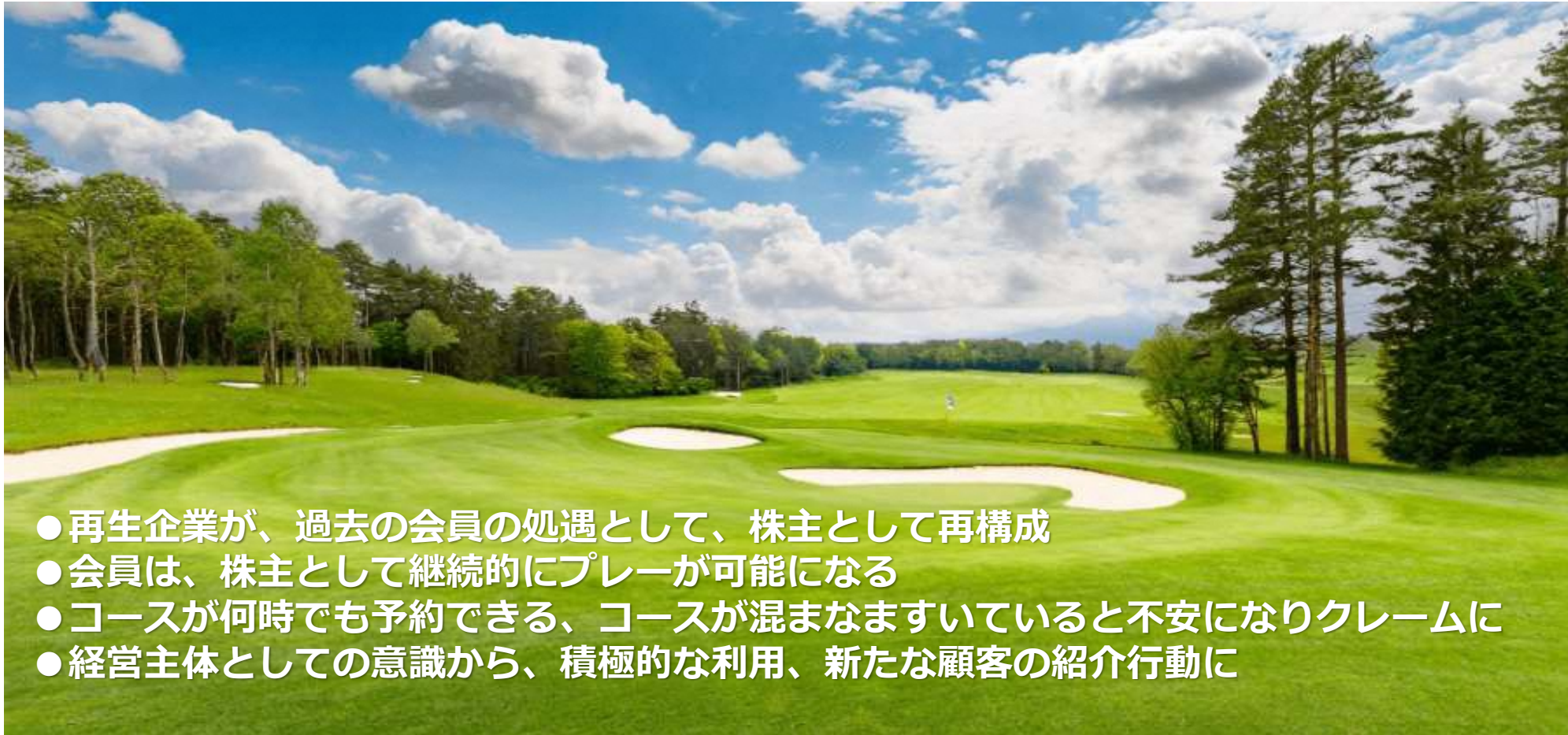
浪江町と地域が主体となる地域課題解決の技術や事業を産み出す
オープンイノベーション機能とリビングラボ機能の活用

共創プロジェクトの課題解決や機能充実のための更なる共創の
組合せ（科学技術やエビデンスに基づくリビングラボ機能形成事例）

お客様なのか、経営主体なのか

7

- バブル期 ゴルフ会員権が高騰、投機対象にも
- 会員は、お客様として混むことの内容に人数制限
コースをとれない日があったり、コースが混み待ち時間が出るとクレームに
- バブル崩壊後 ゴルフ場が倒産、会員権は紙切れに



- 再生企業が、過去の会員の処遇として、株主として再構成
- 会員は、株主として継続的にプレーが可能になる
- コースが何時でも予約できる、コースが混まなますいと不安になりクレームに
- 経営主体としての意識から、積極的な利用、新たな顧客の紹介行動に

テーマ例) 公共交通機関の利用者は、お客様か、経営主体なのか⁸

当たり前にあった公共交通機関が、利用者激減、運転手確保の限界

- ・ 地域では、車利用などに移行し公共交通機関の利用をしなくなってきた
(学生の通学と車を持たない高齢者の病院利用などに偏る)
(地域事業者、保育園などは、独自の従業員送迎バスを活用)



路線バス運行 127 社の「減便・廃止」動向



【対象】 保有する路線数が30以上の路線バス運行事業者。貸切バスは除く
【注】 ダイヤ改正等で路線や運行系統について減便・減回や廃止が明らかになった運行事業者

路線バス 減便・廃止が相次ぐ要因

2024年 問題 への対応	現行のダイヤでは、残業規制に対応可能な人繰りが不可能 運転手の確保難・既存ドライバーの高齢化 観光・貸切バスへの運転手流出
収益環境 の悪化	沿線住民の利用が減少 コロナ禍からの減収分が戻らず、経営を圧迫 高速バス・貸切バス事業を犠牲にした路線バス維持策が限界

【注】 各社の発表情報等を基に帝国データバンク作成

種 類 : コミュニティバス
運営主体 : 各地区の協議会
運行エリア : 7地区

背景

- ・ 少子高齢化、モータリゼーションの進展により、地域の民間 バス事業者が撤退を申し出
- ・ 各地域において、通学・通勤の足確保のため、各自治会で 協議会を設立

ポイント

- ・ 自主運行バスは、全て自家用自動車（白ナンバー車）による有償運送（いわゆる80条バス）での運行
- ・ 運行の可否はすべて協議会に一任
- ・ 年一回、協議会代表者と市職員と意見交換
- ・ 定期的に各協議会に対して運転講習を実施
- ・ 会計士のアドバイスによる積極的なコスト削減
- ・ 欠損補助以外の費用は住民が全額負担



効果

- ・ 利用者は増加傾向にあり、現在、年間約7～8 万人の利用客 がある。

背景

・交通空白地帯であった青葉台地区はバス会社などにバスの運行を要望してきたが、実現には至らず、協議会を設立し、住民主体のバス等の運行を検討した。

運営主体 青葉台コミュニティバス運営協議会⇒小湊鉄道

ポイント

- ・運営協議会が実施している調査により利用者の声を反映。
地域が主体で、市はアドバイスを行う立場
- ・地域を一番熟知している市民が自ら運行形態を検討
- ・自らの熱意で運行を実現させようという意識



効果

平成19年度の1日の利用者数実績は計画を上回る需要が得られた。
その後、車体更新の費用負担が問題になるが、協議会の取り組みが認められ、委託先であった小湊鉄道から一般路線バスとして運行することとなった（H30.10～）。

長岡市と住民、NPOといった地域の人たちが集まって生活交通協議会を設置し、検討を重ねてきたものであるが、地域に何が必要か、一番良く知っているのは地域住民であるからこそできる、住民主体の合意形成のプロセス

NPO法人MTNサポート

長岡市への合併と中越大震災の地域づくりのため、集落コミュニティの復興・農産物の販路拡大・新たな特産品開発に関わるとともに、(株)もったいない村を設立し現在に至る。

また、路線バスが廃止となった地域で公共交通空白地域有償運送（大貝線）および乗合タクシー（八王子千・法末線）の運行。



活動内容

【小国地域生活交通確保事業】

小国南部地域において、公共交通空白地有償運送に該当する地域バスの運行、乗り合いタクシー業務を実施（R4実績：利用者数延べ2,931人）

【レンタカー事業】

主に小国地域内の団体・個人を対象としてレンタカー事業を実施（R4実績：貸渡回数48回）
人口減少による「空き家」対策に取り組む。

1991年、東急バスが設立されバス部門が分離

2003年3月 渋谷の住宅地に新市場 ミニバス巡回

愛称は事前に一般公募を行った結果、78件の応募作品の中から「ハチ公バス」に決定



大手企業であっても地域の細かな生活や移動に関する実情(課題や活用ニーズ)などを地域と対話し組み上げ、地域の住民や学校、事業者の協力で事業性を担保してきた。



高橋和夫氏
東急バスの再建で東急電鉄社長に、
現在、東急(株)副会長

第1回勉強会の振り返り

町内外の地域経営資源を活用し、
地域課題解決や地域経営事業創出の主体になろう!!

第2回勉強会

行政サービスを受けてきたゲストの立場から地域経営のホストに。

町内の主体と町外の多様なセクターや業界、主体との共創

浪江町と地域が主体となる地域課題解決の技術や事業を産み出す
オープンイノベーション機能とリビングラボ機能の活用

共創プロジェクトの課題解決や機能充実のための更なる共創の
組合せ（科学技術やエビデンスに基づくリビングラボ機能形成事例）

町内、町外の多様なセクターや業界、主体の共創へ拡充

14



町内、町外の多様なセクターや業界、主体の共創へ拡充

15

まちづくり用地
F-REI用地全体
活用のシナジー事業

公民連携
業務支援
指定管理

役場(浪江町)
／県

国

民間事業者
要素技術材料技術
(町内外企業・スタートアップ°)

地域事業者

規制緩和
研究支援

民間事業者
まちづくりや関連技術
(町外企業・スタートアップ°)

産学連携

地域や社会課題解決のための
研究開発と地域実装

地域側の経営
また共創主体



タウンセンター

浪江駅周辺整備事業
浪江町事業中(～R8)

F-REI敷地
復興庁事業中(～R12)

浪江駅西側地区
公民連携まちづく
(浪江町検討中)

リビングラボ
オープンイノベーション
エリアマネジメント主体

産業団地
(浪江町検討中)

民間事業者
F-REI国有地経営事業
(町外企業・スタートアップ°)

F-REI
福島国際研究教育機構
その他大学研究機関

民間事業者
不動産デベロッパー
(町外企業・スタートアップ°)

異業種共創による
事業効率化と多角化

MaaS、AI、IoT、DXによる様々な利用者の相互利用

民間事業者(テナト)
地域機能経営スキル
(町外企業・スタートアップ°)

住民利用



園児・学生
送迎



介護福祉



従業員
送迎



F-REIによる
利用

通信講座 E-ラーニング



学習マーケット(対象者)への
サービス(ソリューション)対応



カルチャーセンター ／各種教室



社交学習マーケット(対象者)への
サービス(ソリューション)対応



リビングラボに
ベネフィットを要求

趣味のサークル 仲間創り

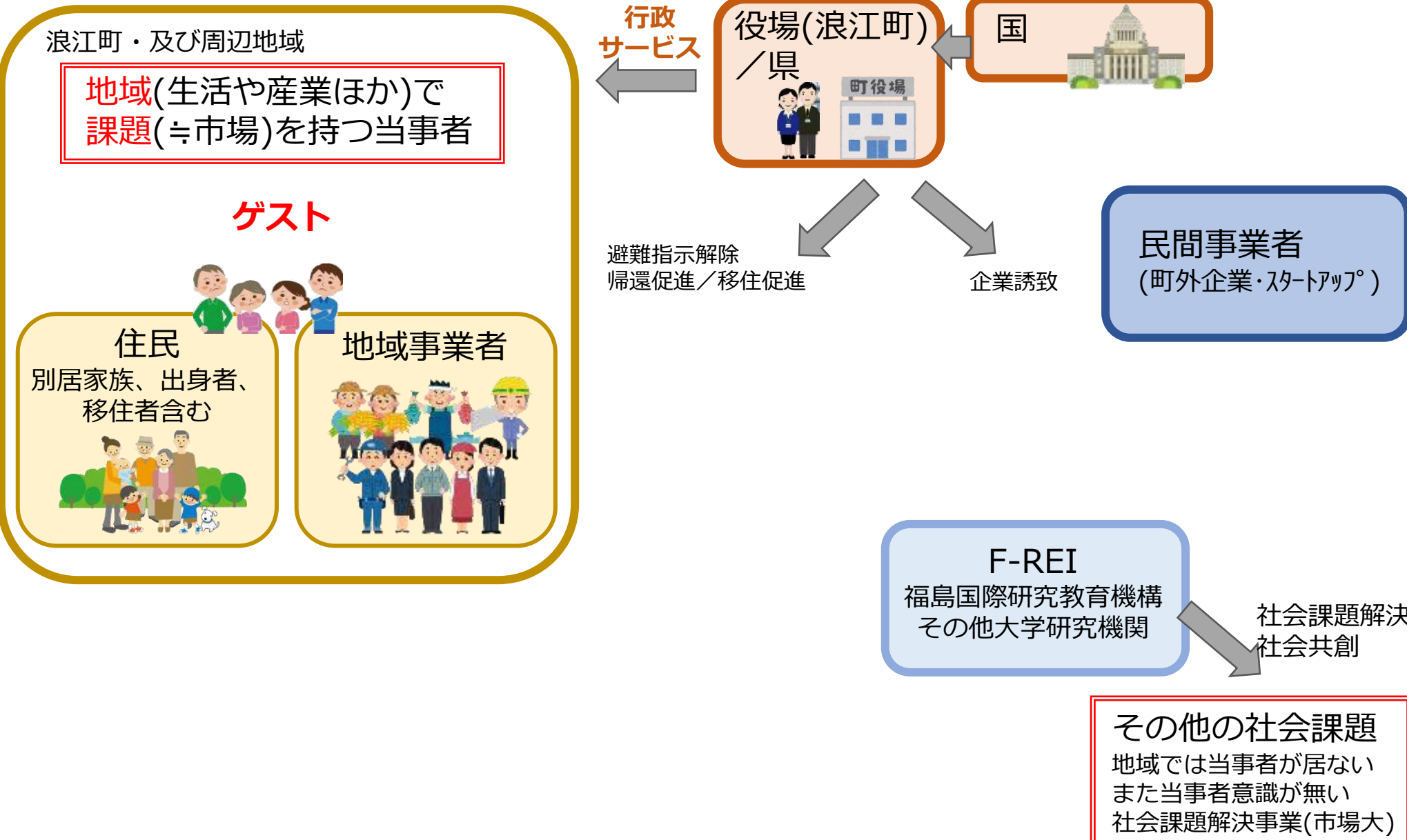


コミュニティからの
サービス(ソリューション)対応

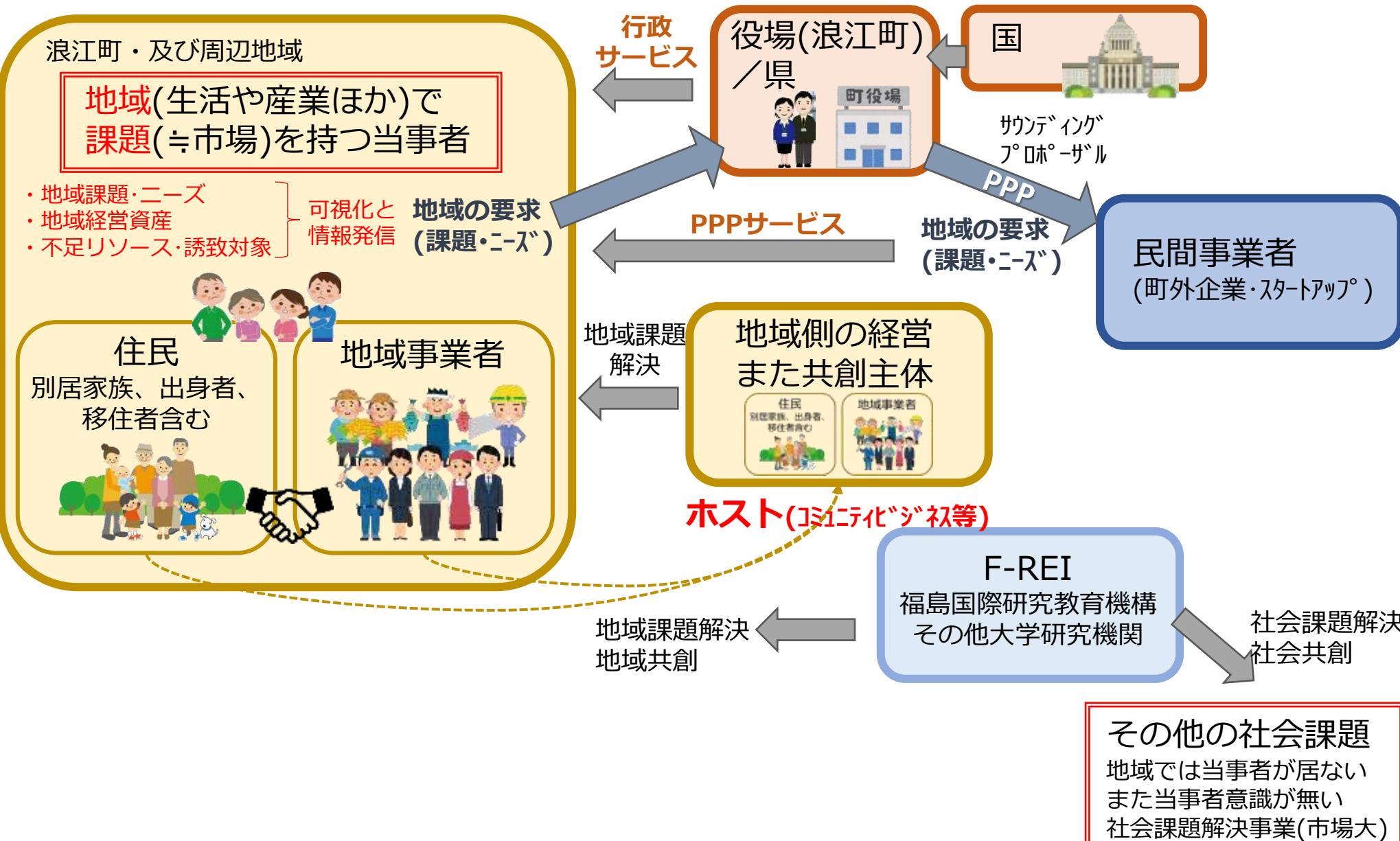


リビングラボに
自らの改善成果を要求

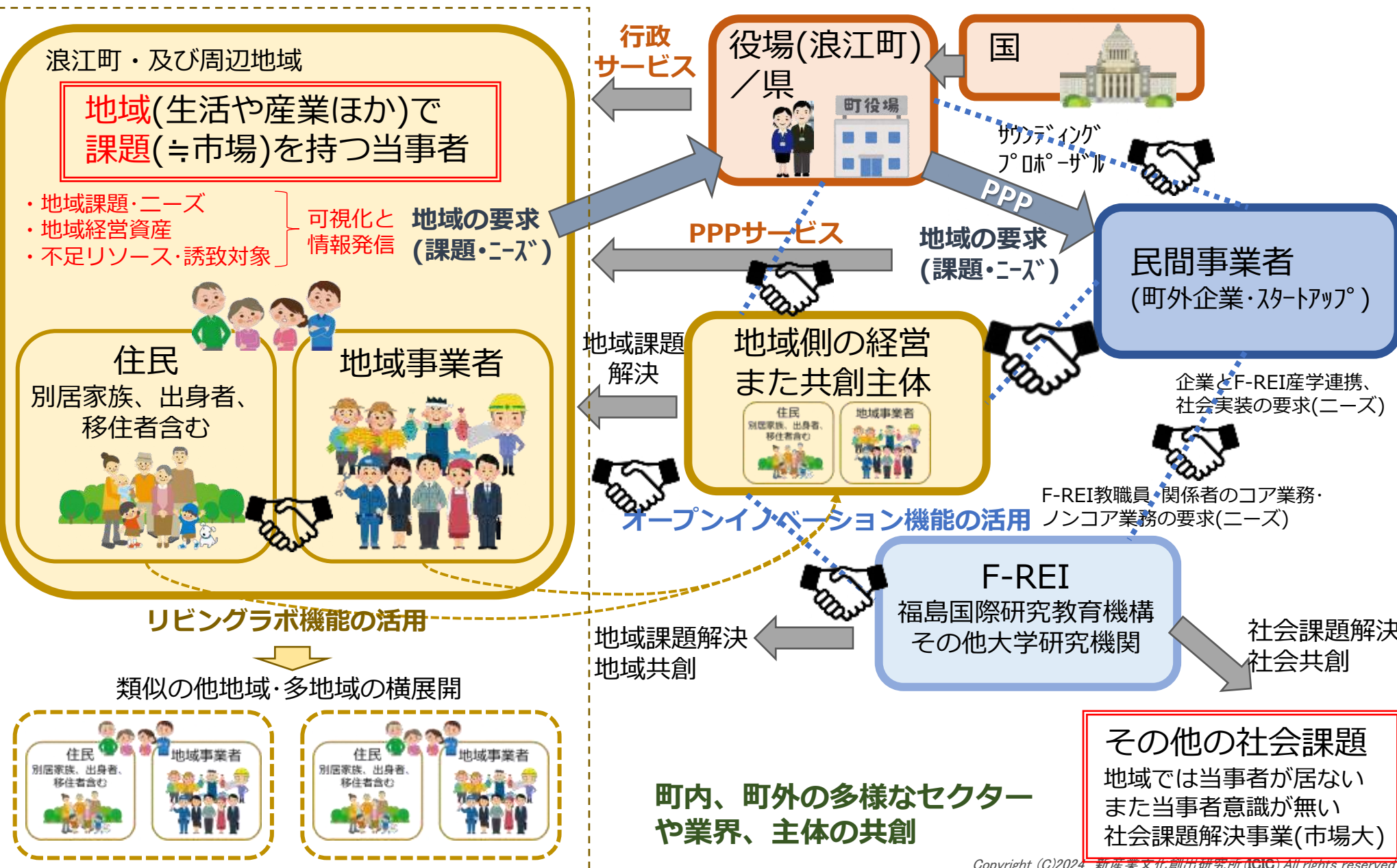
浪江町の共創まちづくり活動のステイクホルダー整理と今後の共創関係¹⁷



浪江町の共創まちづくり活動のステイクホルダー整理と今後の共創関係¹⁸



浪江町の共創まちづくり活動のステイクホルダー整理と今後の共創関係¹⁹



第1回勉強会の振り返り

町内外の地域経営資源を活用し、
地域課題解決や地域経営事業創出の主体になろう!!

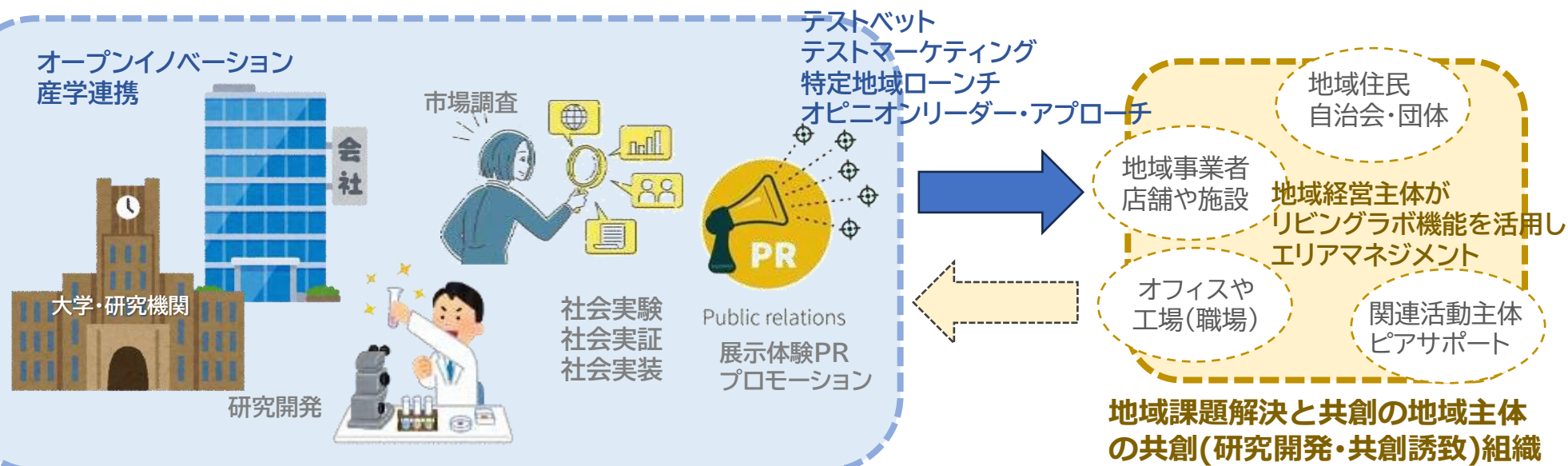
第2回勉強会

行政サービスを受けてきたゲストの立場から地域経営のホストに。

町内の主体と町外の多様なセクターや業界、主体との共創

浪江町と地域が主体となる地域課題解決の技術や事業を産み出す
オープンイノベーション機能とリビングラボ機能の活用

共創プロジェクトの課題解決や機能充実のための更なる共創の
組合せ（科学技術やエビデンスに基づくリビングラボ機能形成事例）



- ・ 会社が持続や事業拡大、品質向上や改良を行うために経営戦略室、研究開発室、事業開発室、産学連携室やオープンイノベーション担当、マーケティング部プロモーション部門がある。
- ・ 会社や大学研究室は研究室から出た地域を生活実態のある場所での研究調査(ラボ)として社会課題の収集調査や社会実験などのテストベットとしたり、事業化のための社会実装やテストマーケティング、プロモーションやPRのために感度の高いオピニオンリーダーの発掘や集積地域、施設で天使や体験、サンプル提供などの販売促進活動を行うために予算をかける。



- ・ しかし、地域側では、地域や自治会、生活者や市民活動団体の地域活動の持続や価値向上のための研究や事業開発、経営戦略、共創部門が無く、行政が、その役割となってきた。
- ・ 地域側が自らの課題解決や価値向上、互助共助、移住促進や企業・機能の誘致、コミュニティの活性化、活動のマネタイズなどのエリアマネジメントのために、地域(住民や地域事業者、市民団体やサークル、ピアサポート組織等)が主体のリビングラボを上手に活用することを検討。

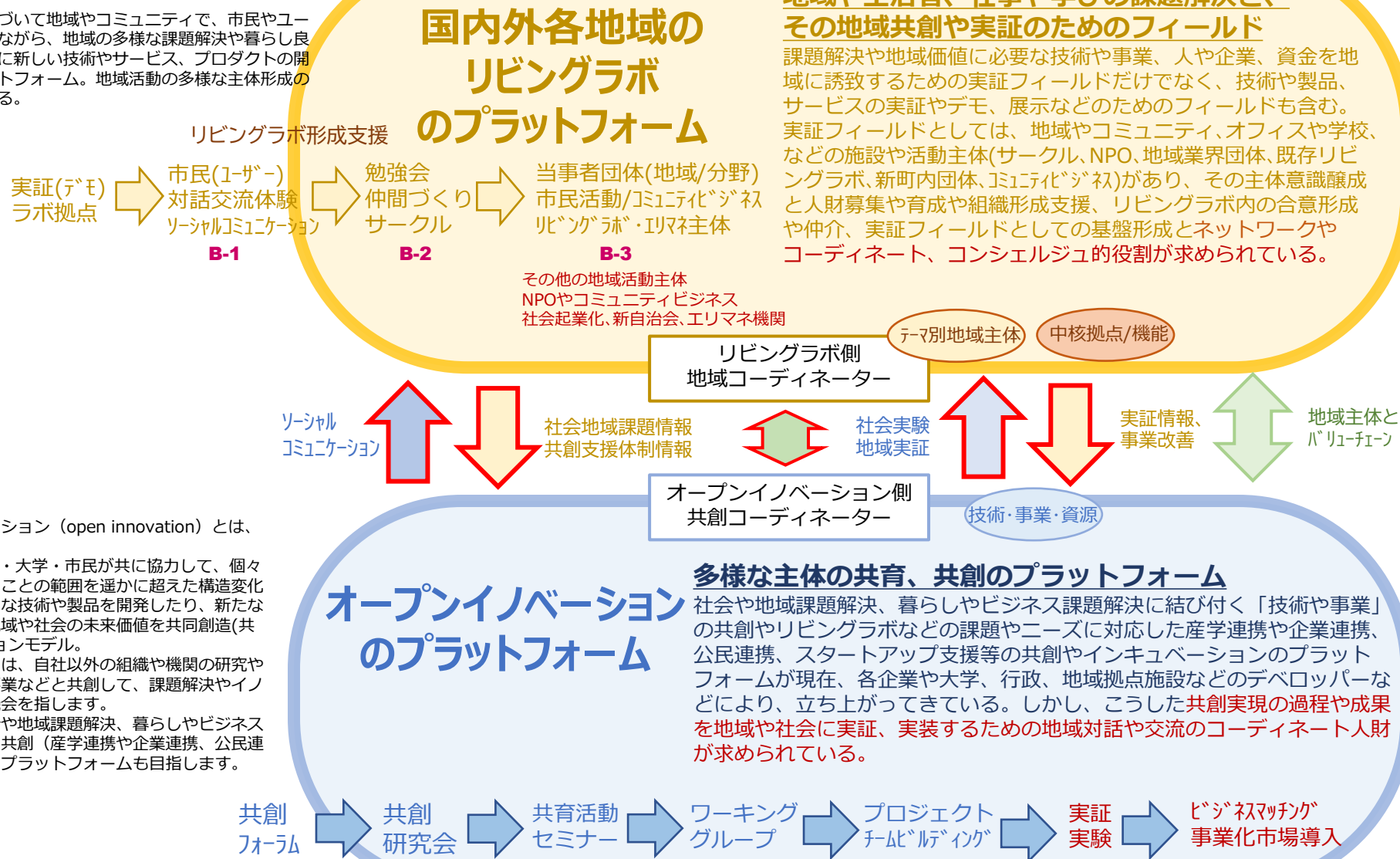
※リビングラボ（Living Lab）とは

①企業や研究機関のテストベッド、フィールドワークとしての側面と、②地域側が地域課題解決のために企業や研究機関の知恵や資金、ソリューションを誘致し共創する①と②の2つの側面がある。

ここではテーマに基づいて地域やコミュニティで、市民やユーザーが主体性を持ちながら、地域の多様な課題解決や暮らし良い環境の実現のために新しい技術やサービス、プロダクトの開発を共創するプラットフォーム。地域活動の多様な主体形成の中間支援の役割もある。

※赤字、

➡ 求められる機能と人材、実施主体

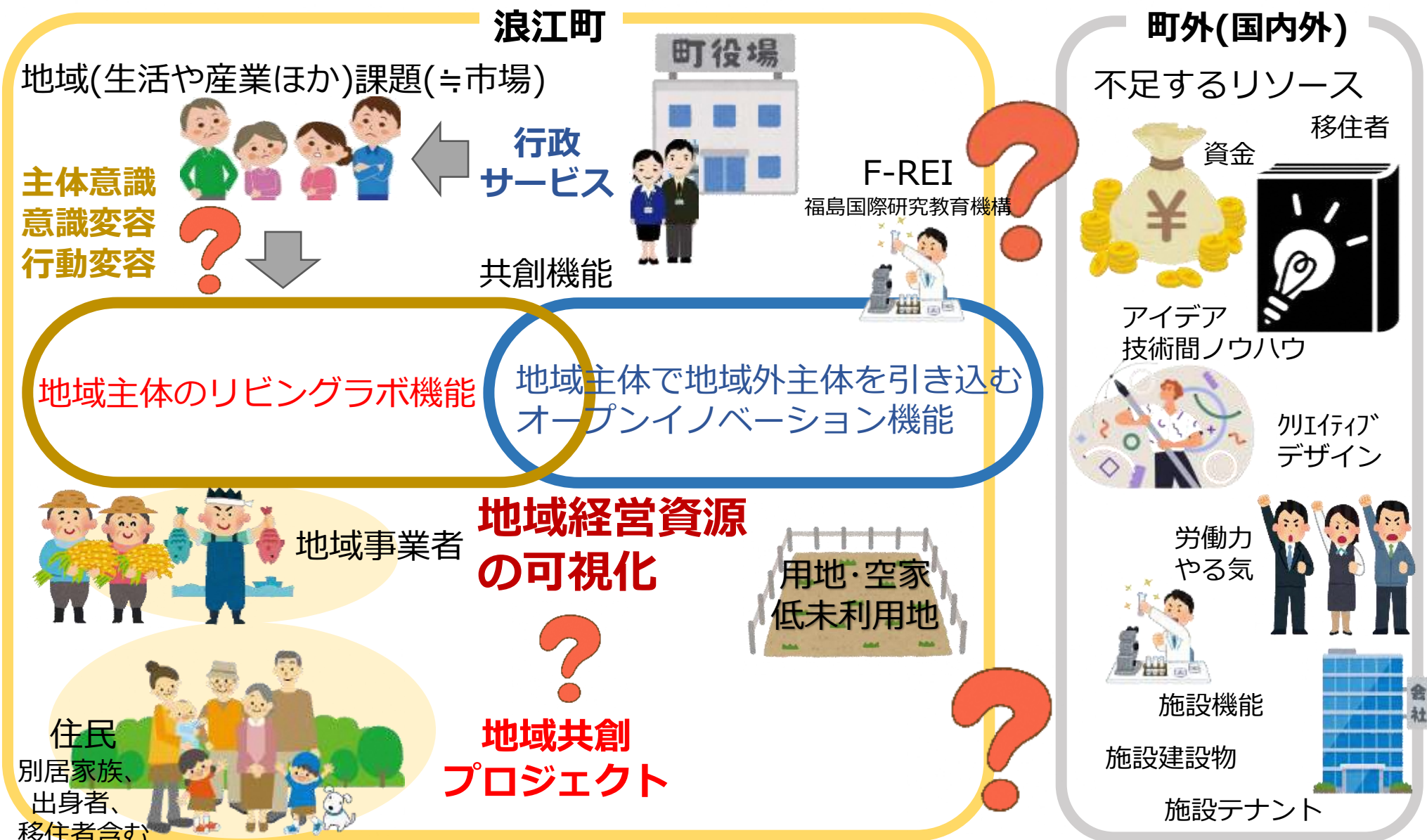


※オープンイノベーション（open innovation）とは、

政府(行政)・企業・大学・市民が共に協力して、個々の組織や人ができることの範囲を遥かに超えた構造変化を引き起こし、新たな技術や製品を開発したり、新たな価値を生み出し、地域や社会の未来価値を共同創造(共創)するイノベーションモデル。

企業などにおいては、自社以外の組織や機関の研究や技術、サービス、事業などと共創して、課題解決やイノベーションを図る機会を指します。

新学部では、社会や地域課題解決、暮らしやビジネス課題解決に結び付く共創（産学連携や企業連携、公民連携等）テーマと共創プラットフォームも目指します。





出典:こども大学 ICIC



今夏、初の試みとして地域学部「ツリーハウスの森大作戦」プログラムを開催しました。

事前学習会、高知へ行く前に事前に友達になる会、高知県れいはいく地域での体験学習会、事後学習会を行い、こどもたちが一連の学び、体験をできるプログラムとしました。



なぜ、菅平で、皆が合宿
するようになったのか

練習施設・宿泊施設 +
対戦相手のコーディネート等



第1回勉強会の振り返り

町内外の地域経営資源を活用し、
地域課題解決や地域経営事業創出の主体になろう!!

第2回勉強会

行政サービスを受けてきたゲストの立場から地域経営のホストに。

町内の主体と町外の多様なセクターや業界、主体との共創

浪江町と地域が主体となる地域課題解決の技術や事業を産み出す
オープンイノベーション機能とリビングラボ機能の活用

共創プロジェクトの課題解決や機能充実のための更なる共創の
組合せ（科学技術やエビデンスに基づくリビングラボ機能形成事例）

＼みんなの地域で健やかに！／

第12回 **まちかど保健室**

in 帝塚山学院大学

日時 **3月7日(土)**
午前 10:00～12:00

場所 帝塚山学院大学 体育館棟内1階
〒590-0113 堺市南区晴美台4-2-2
＼公共交通機関をご利用ください！／

申込不要
参加無料
粗品抽選！
(数量限定)

社会医療法人生長会・帝塚山学院大学・大阪府住宅供給公社が連携して開催する『まちかど保健室』。今回は帝塚山学院大学で開催します！堺北ニュータウンにお住まいの皆さまの「健康増進・疾病予防・介護予防」のお手伝いをさせて頂きたいと考え、健康チェック、保健・医療・介護に関する相談コーナー、健康講話を実施します！

健康講話コーナー

第1部 10:45～11:15
がんの早期発見について
講師 社会医療法人生長会 ベルサンテ総合病院 外科 科長 江藤 美和子

第2部 11:15～11:45
なにわ野菜を食べて元気に
講師 帝塚山学院大学 人間科学部 食物栄養学科 講師 田中 仁

健康チェックコーナー
看護師、ケアマネなど病院スタッフによる
血圧測定・血管年齢／骨密度チェック
健康・介護相談 乳房自己触診体験 など

持ち物 スリッパ等のお履き物をご持参ください。

ご家族で楽しめる！
ゲームコーナーも！
景品もあまるよ！

【お問合せ】大阪府住宅供給公社 団地再生グループ ☎06-6203-5534
共催：社会医療法人生長会／帝塚山学院大学／大阪府住宅供給公社

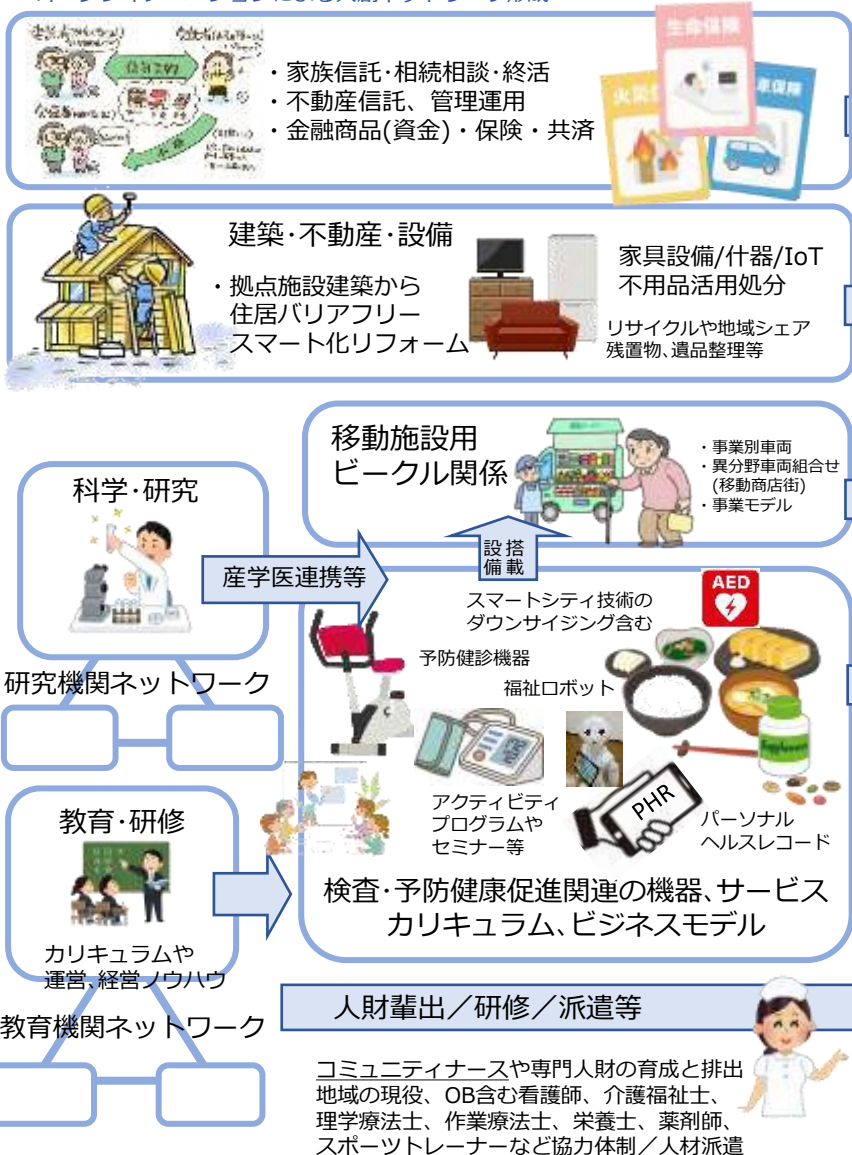


- 「まちかど保健室」in茶山台団地
- ・大阪府住宅供給公社（大阪市）
 - ・社会医療法人生長会（和泉市）
 - ・帝塚山学院大学（堺市南区）

地域貢献、医療機関の地域連携、またボランティアのコミュニティナース活動のマネタイズなどの持続性が全国で課題に

オープンイノベーション

オープンイノベーションによる共創ネットワーク形成



リビングラボ形成

② 地域経営事業代行の実施・運営者

④ まちかど保健室等専門分野の運営者

遠隔運用等含む健康まちづくりクラウドDX

④ その他シナジー効果の専門分野の運営者

地域内ネットワーク



まちかど保健室の全国のネットワークに対してソリューション、事業モデル、教材、人材を供給し、量的メリットからコストを軽減(販路としての活用)

特定非営利活動法人
こもれび相談室

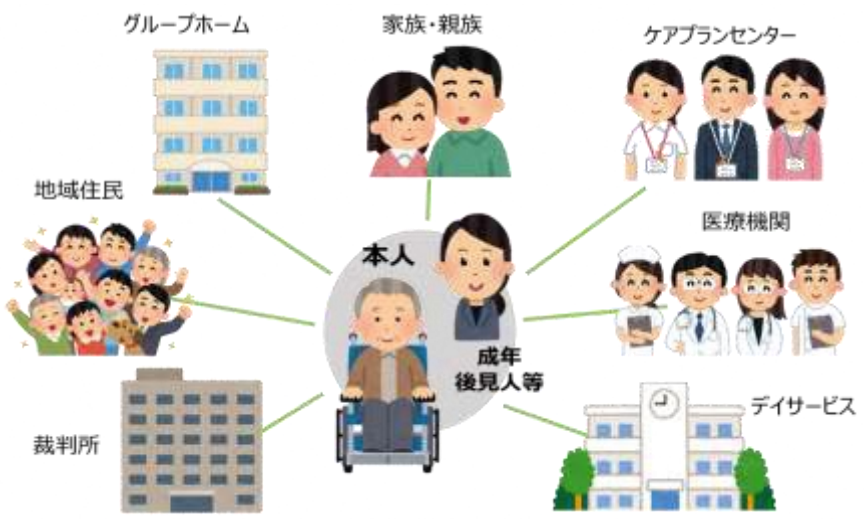
成年後見人の仕事

財産管理



療養看護

介護契約・介護施設への入所契約
病院への入院手続



安心して暮らすために

市民に寄り添う暮らしのトータルコーディネーター

各専門家とのネットワークを活かし
多様な相談内容に対応



問題の早期発見
問題の深刻化を防止



後見相談

元気なうちに大切なことは自分で決めたい

認知症や障がい等で自分での財産管理が困難になると

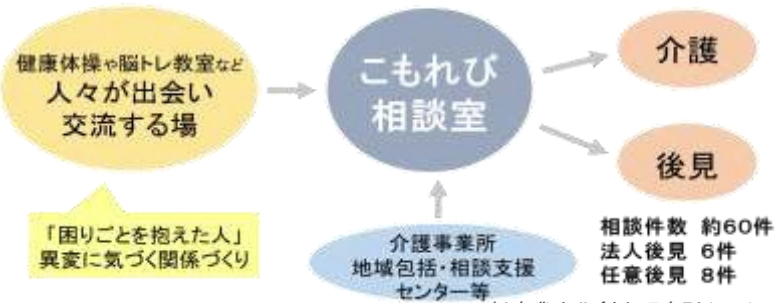


相談の流れ

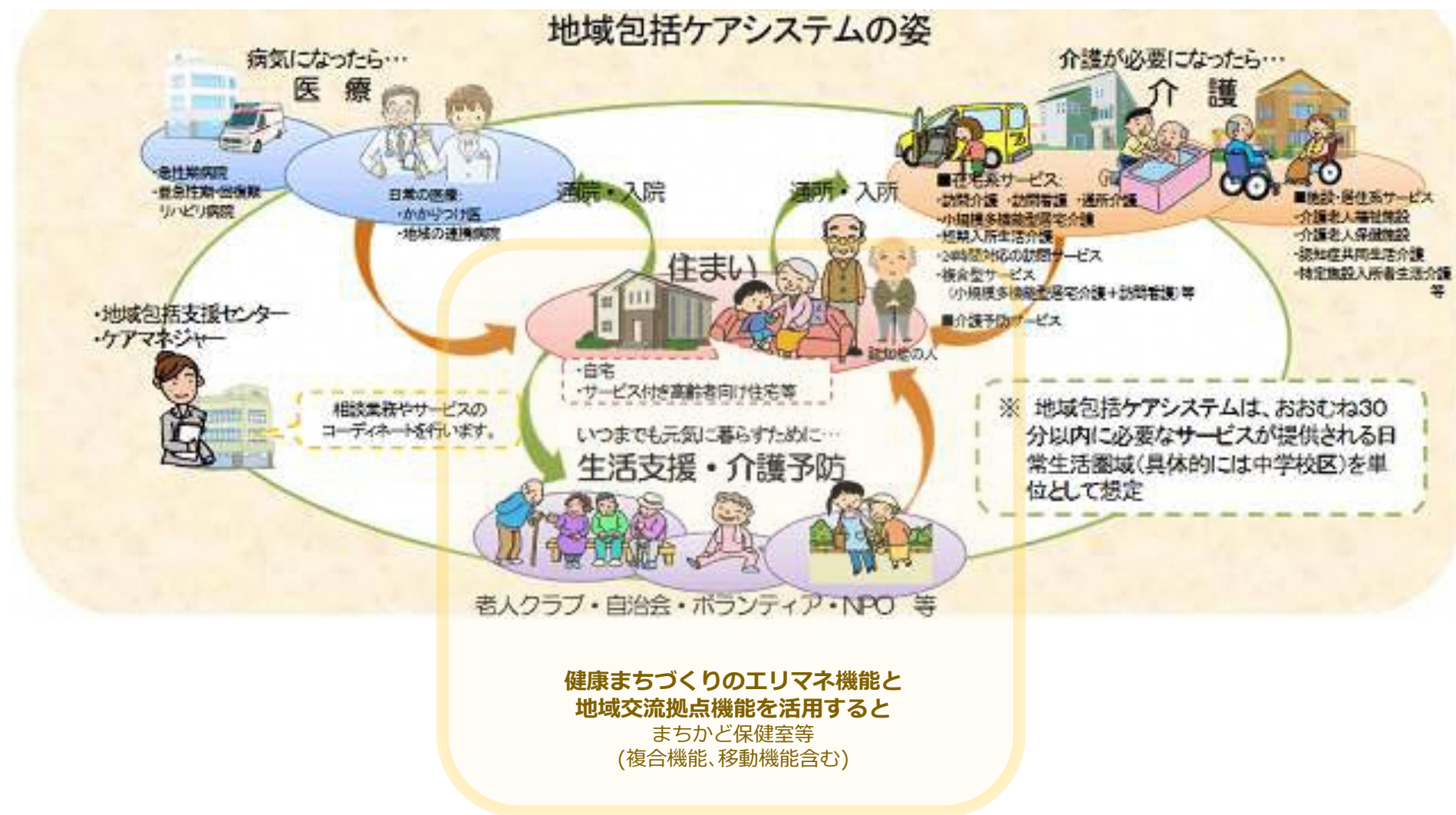
体操・セミナー参加者等
こもれびカフェで相談→面談→後見支援
介護事業所・地域包括支援センター・相談支援センター等
電話相談→面談→後見支援



安心した暮らしを守るために



まちかど保健室機能をハブとした地域包括ケアシステム検討



その他の多様な機能やサービス、主体とのネットワーク

Copyright (C)2024 新産業文化創出研究所 (C) All rights reserved

認知症対策と家族信託×不動産信託・管理運用×保険(生保・損保・共済)×地域見守りサービス×スマートリノベーション×住み継ぎ

健康づくり側

地域の住み続けに加えた連携施設への入居や移転、売却の選択枝 →

まちづくり側



- オンラインであっても拠点に集まり交流することが健康や孤立、コミュニティには重要
- オンラインリテラシーの低い方でも、拠点に来れば双方向のサービスが受けられる技術と設備が必要
- 遠隔医療や健康サービス、各種相談を効果的に行う機能や設備、運営方法やコンテンツの開発
- オンラインサービスにおいてもリアル同様の機能やマネタイズ方法、また運営方法の検討が必要

※PHR(パーソナルヘルスレコード)
※地域医療連携ネットワーク(EHR)の高度化、標準化

サービス提供の事業者

- 健康サービス事業者
 - ・医師、理学療養士、管理栄養士、スポーツトレーナー等
- 生活・資産相談事業者
 - ・弁護士、行政書士、司法書士、税理士会計士、不動産鑑定士、フィナンシャルプランナー等
- 社会福祉関係者
 - ・ケアマネ、民生員、

例)栄養指導保険点数

- ・対面260点
- ・オンライン235点
- ・集団80点

社会的処方・多職種連携

ネットワーク技術

サードプレイス(地域拠点)
まちかど保健室

地域間交流

他地域の地域拠点)
まちかど保健室

地域拠点として活用可能な場所

ネットワーク技術

地域の住居とセンシング、個人デバイス
PHRのAI活用

- 地域交流拠点
- 各種サービスを受ける拠点
(地域の主体事業含む)

拠点にいる地域人財

- 拠点管理人さん
- リンクワーカー
- コミュニティナース等

拠点の住民参加者、サービス利用者は
拠点に集まり交流
(地域サークル育成)
※行動変容促し継続化

拠点内の
オンライン設備



総合相談窓口

- 健康福祉医療相談
- 生活・資産相談
- ★地域サークル紹介



サービス提供の施設

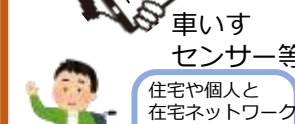
- 地域包括支援センター
- 病院・クリニック
- 社会福祉施設
- 民間施設
 - ・スポーツクラブ、料理教室
 - ・カルチャーセンター



共創による
開発検討

- 事業者側のネットワークの仕組み
- リンクワーカー役割と育成、連携

- 超臨場感のオンライン技術やシステム
- バイタルデータや資産データを扱うセキュアな追伸システム



遠隔ワライン宅医療・在宅ケア

ved

オープンイノベーションと市民・地域をつなぐ仕組み（共創プラットフォーム）の確立

アカデミア(学)・企業(産)中心
学学連携・企業連携・スタートアップ

市民(民) 住む人、働く人、訪れる人、
地域事業者の参画
公民連携、市民協働、地域連携



健康・医療クラスター形成

オープン・イノベーションの推進

共創の場形成支援プログラム(JST)

ヘルスケア産業の創出
産学連携、企業連携の促進
によるイノベーションの創出

リビングラボ



健康・医療のまちづくり

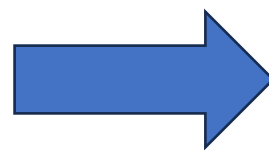
まちぐるみでの健康増進・地域活性化

地域共創

健康への意識を高め、行動変容とともに
新しいライフスタイルを創造し、
主体的コミュニティ活動やエリマネを醸成
(リテラシー向上から行動変容まで)

オープンイノベーションと市民・地域をつなぐ仕組み（共創プラットフォーム）の確立

研究や開発のための健康データを取得する
テストベッド、またマーケットリサーチの
ためにニーズや改善点の情報収集、及び
実証するフィールドと研究成果の還元



健康データ、ニーズ、課題等

リビングラボ



健康・医療クラスター形成

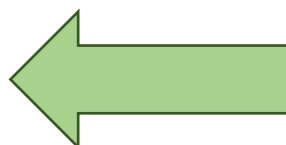
オープン・イノベーションの推進



健康・医療のまちづくり

まちぐるみでの健康増進・地域活性化

地域共創



地域が主体的に地域の課題、生活や身体の
悩み、ウェルビーイングなライフスタイル
に必要な情報や技術、製品、事業を地域の
ために誘導し行動変容に結び付ける

1

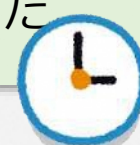
地域を実証フィ

3

動

例)当事者の募集のためのコミュニケーション

- ・ 悩みや症状の方へのセミナー等
- ・ 夜眠れなくてお困りの方
- ・ 膝が痛くて歩けない方
- ・ 最近、食べ物が気管に入りむせこむ
- ・ 呂律が回らなくなってきた



健康の悩みや課題
主体のニーズの提供

5

ホーム
センター

Restaurant

GYM

グループ

調査や

地域の相談拠点
実証拠点の拡

ヨーグルト

画メンバーの拡
地域からの提案
に留まらないグローバルヘルスへの共創協力へ

共創テーマの参加企業や研究機関の縦横、異分野の組合せ(共創)と地域拠点活用の「まちかど保健室」

【計測系】

PHRなどの身体データの測定
機器や検査キット、実証設備

EXPO2025

大阪ヘルスケアパビリオン

PHRポッドなどの関連企業
と製品、サービス

① B to B

② B to 地域B to C

【健康系テーマ(身体の悩みや課題)】

健康テーマに紐づく生活相談、保険や医療相談に馴染みやすい企画

③ B to C

国循の戦略テーマ

睡眠café(仮称)

② 地域B to C

医薬健栄研の戦略テーマ

抗疲労、リハビリ-café(仮称)

認知機能café(仮称)

- ・認知症予防情報とソリューション
- ・認知症検査／治療薬(東和薬品)
- ・認知症対策家族信託(資産凍結対策)
個人、中小企業法人(事業承継)
- ・認知症保険(明治安田生命)
- ・医療機関(医師)連携の認知症治療
- ・認知症予防生活習慣
口腔ケア(歯周病)、食事、飲酒、運動
睡眠、会話交流、室内のカビ
- ・認知症予防サプリメント
- ・認知症と資産凍結(家族信託)
- ・認知症トラブル(弁護士)
- ・認知症ケアと当事者との地域共創社会
介護施設、アート芸術、アプリ

オーラルcafé(仮称)

- ・オーラルフレイル情報
- ・オーラルフレイル検診
(オーラルヘルス研究会チーム)
- ・オーラルケア

アンチエイジングcafé(仮称)

栄養・食café(仮称)

- ・栄養フレイル
- ・腸内フローラ

運動・姿勢café(仮称)

- ・筋肉増量
関節、骨格

※こども対象のコンテンツ開発も

足腰の痛み回復café(仮称)

身体のコリcafé(仮称)

抗疲労／休息café(仮称)

睡眠café(仮称)

目の健康café(仮称)

会話café(仮称)

【資産系、その他】

住宅設備やリフォームの相談、相続
や資金繰り、不動産等資産運用相談
プログラムと地域交流拠点活用事業検討

・家族信託(成人後見制度)、
相続、遺言信託

・保険、共済

・銀行、証券、その他金融

② B to 地域B to C

・不動産信託やリースバック、
リバースモーゲージ等
・不動産管理／
資産向上のAMPFM等

・不動産リフォーム

・その他

【健康系共創テーマ】

身体の悩みや課題解決のため
のテーマ別製品やサービス

③ B to C

② B to 地域B to C

【地域拠点】

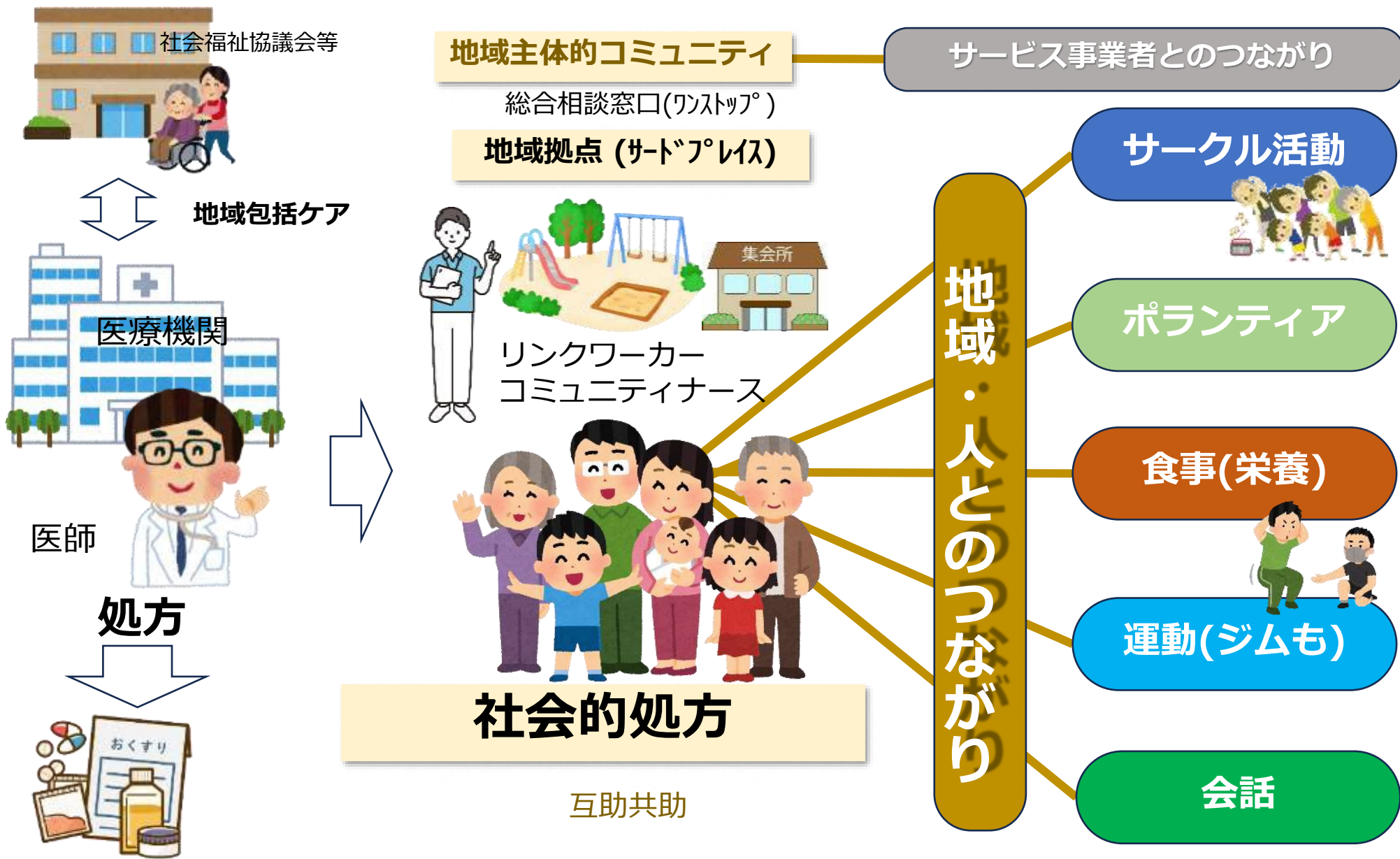
PHRなどの身体データ
の測定機器や検査キット
の設置と測定の拠点
(商流のユーザーに近い川下)

まちかど保健室拠点施設
リビングラボ地域共創施設
その他健康まちづくり機能
ハード・ソフト、事業モデル、
医療系高福祉機能付き地域・施設

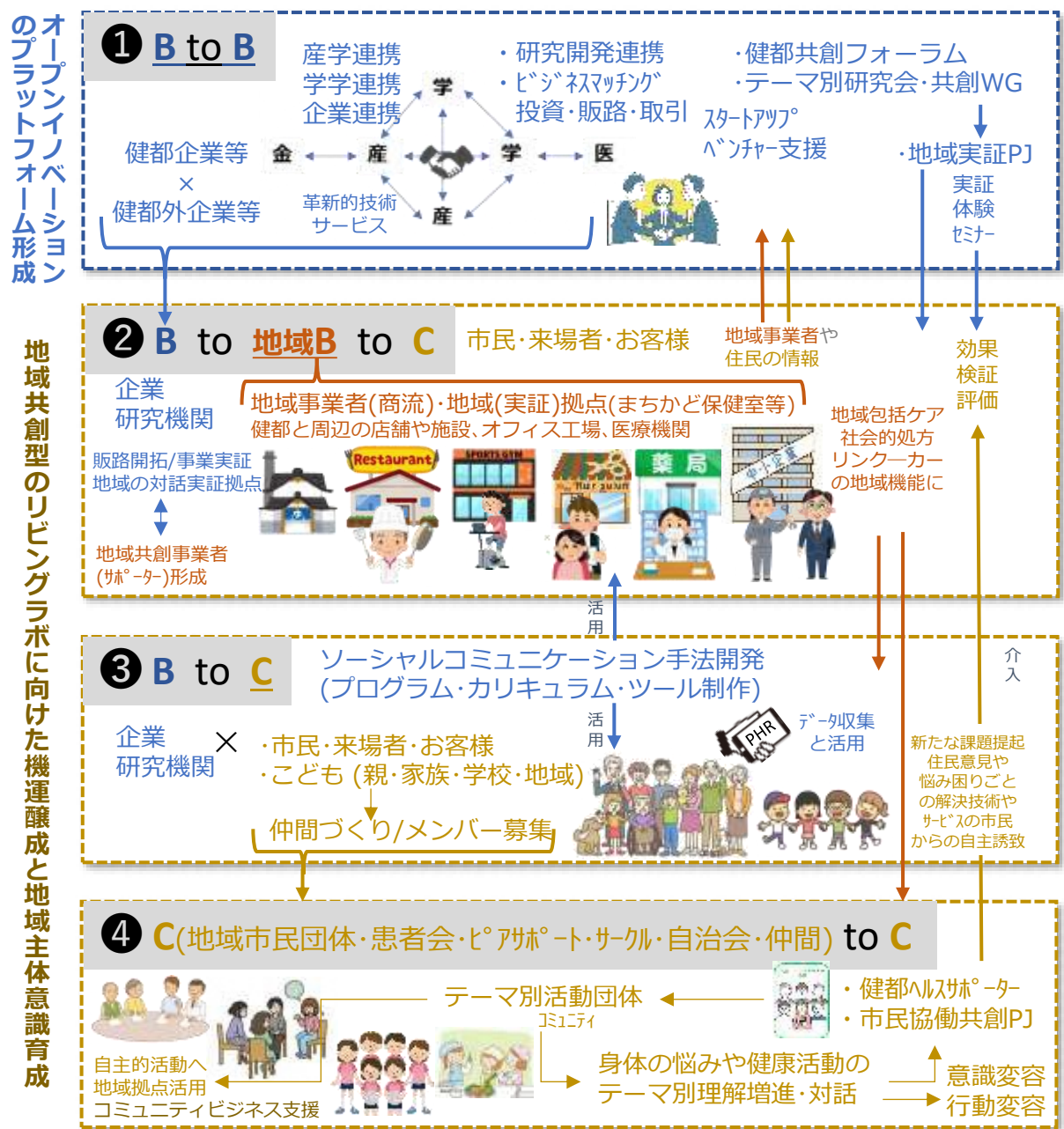
② 地域B to C

◆リビングラボ拠点機能を持つ地域やその他地域の位置づけと有機的連携や横展開のためのコンテンツ、ソリューション(リビングラボネットワーク)

地域包括ケアと社会的処方



産学官民共創とリビングラボ機能による地域事業者、コミュニティ組織の育成⁴¹



健都と周辺地域や関係主体を核にクラスターを形成し国内外との連携



ご清聴ありがとうございました。



廣常啓一